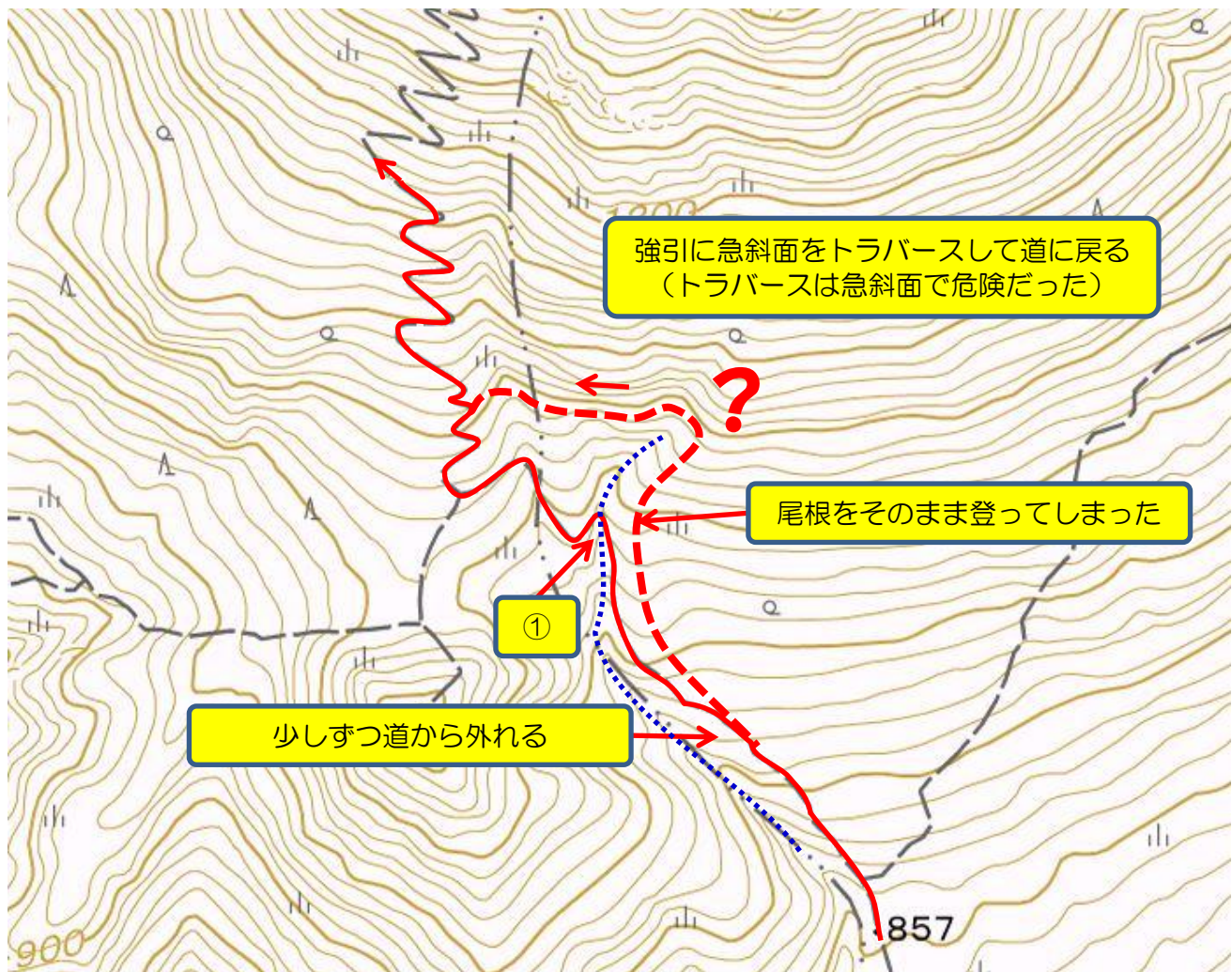


## 由布岳道迷い(2019年10月)

GPSを見ていたがほんの少しずれているだけで方向は合っていたので問題ないと判断し進む。少しの誤差だったが道を外れ急斜面を登り危険を感じた。



## 解説

GPSを確認するも、少しの角度の違いだから大丈夫と思いそのまま進んだ。西側の沢を①の地点で越えないといけないが、気づかずどんどん斜面を登ってしまった。

道迷いに気づいた時には戻ろうとせず、登山道ではない急斜面をトラバースしたが、斜面は落ち葉でふかふか。人が踏み込まないから岩は苔蒸しツルツルで危険だった。やはり早めに引き返すことが正解だった。とHPで語られている。

GPSを持っていると大きな道迷いをする事は少なく、安心である。しかし、「GPSを持っているから大丈夫という慢心」と「道を間違えた時の初期行動の誤り」によってさらに危険を増長させてしまう。初期行動の誤りは、後から振り返ると、なぜあんな行動をとってしまったのだろうと思うことが多い。

道迷いの不思議である。